



漆芸家 川西重澄 の全貌

令和6年10月12日(土)～12月1日(日)

午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで) 会期中無休

主催 富山市教育委員会(富山市佐藤記念美術館)、富山市

後援 北日本新聞社、北日本放送、富山テレビ、チューリップテレビ、ケーブルテレビ富山、
富山県芸術文化協会、富山市美術作家連合会

富山市佐藤記念美術館

漆芸家 川西重澄の全貌

富山県出身の漆芸家・川西重澄しげとは、昭和四十九年に同郷の漆芸家・尾長保に師事し、漆芸家としての一步を踏み出しました。昭和五四年からは、代表作である蘭をモチーフとした『らんぷ』の制作に取り組み始め、以後は多くの美術展で受賞を重ねながら、現在も出身地である富山市を拠点に精力的な作家活動を続けています。川西の作品の多くは、身の回りにある自然の草花や風景を題材としており、対象を繰り返してスケッチすることで生まれる洗練された文様デザインと、塗料としての漆の特長を最大限に活かした色彩表現に定評があります。また、ときにはガラスなど漆以外の素材にも着目し、造形素材として自身の作品に大胆に取り入れるなど、従来の漆芸の枠に囚われない奔放な作風でも知られています。

令和元年に「重治」から「重澄」へ改名したのを機に、川西は長年所属していた複数の芸術団体を離脱し、市井の漆芸家としてこれまで以上に自由な創作活動を展開し始めました。以来、創造の世界にありのまま身を委ねる『らんぷ』の世界観は、さらにその洗練の度合いを深めつつあります。

本展では、屏風やパネルなどの平面作品、茶道具や食器を中心とした実用品、鑑賞を主眼に置いた立体作品など、川西がこれまで手掛けてきた仕事の中から、代表作約四〇点を選んで展示します。漆芸を通じて普遍の美を追い求めてきた川西の、およそ半世紀にわたる仕事の全貌を振り返り、今後の新たな展開を見据える貴重な機会となれば幸いです。



二曲屏風『燦夏』2002年 富山市所蔵



二曲屏風『らんぷ』2013年 作家所蔵



四曲屏風『らんぷーシンフォニー』1997年 作家所蔵



『らんぷ』2022年 作家所蔵



『らんぷ』2024年 作家所蔵



大皿『らんぷ』2020年 作家所蔵



『らんぷ』2023年 作家所蔵

10月12日(土)

記念講演「漆の現代に挑戦する—川西重澄の魅力」

講師：武田 厚 美術評論家、多摩美術大学客員教授、本展企画監修者
午後1時より(40分程度) 会場：当館講堂
※事前申込不要、聴講無料

川西重澄による作品解説

午後2時より(1時間程度) 会場：当館展示室
※事前申込不要、要・観覧券

11月3日(日・祝)

学芸員によるショート解説

①午前10時より ②午後2時より(いずれも30分程度)
会場：当館展示室 ※事前申込不要、聴講無料

11月4日(月・振休)

ワークショップ〈参加費無料〉 ガラスに絵を描いてみよう!

ガラスのコップやブロックに、漆に似た絵具で絵を描いて、自分だけのオリジナル作品を作ります。完成した作品は、美術館2階に展示します。

- 午後1時30分より(2時間程度)
- 講師：川西重澄(本展出品作家)
- 会場：美術館講堂
- 対象：小学4年生から中学3年生までの児童・生徒とその保護者(児童・生徒のみの参加も可)
- 定員：12名(応募多数の場合抽選)
- 応募方法：往復ハガキで、参加者全員の氏名(小学生、中学生は学年も)、住所、電話番号を、富山市佐藤記念美術館へ。10月17日(木)必着 ※往復ハガキ1枚で3名まで申込可
- 展示期間：11月23日(土・祝)～12月1日(日)



交通案内 ○富山駅から徒歩15分 ○市内電車「国際会議場前」下車 徒歩3分 ○地鉄バス「城址公園前」下車 徒歩2分 ○富山空港より連絡バスで20分 ○北陸自動車道 富山I.C.より車で15分 ※当館に駐車場はありません。最寄りの駐車場(有料)は城址公園地下駐車場となります。

富山市佐藤記念美術館

富山県富山市本丸1-33 富山城址公園内
Tel.076-432-9031 Fax.076-432-9080
<https://www.city.toyama.toyama.jp/etc/muse/>

観覧料 ○個人大人400円 ○団体大人320円 ○高校生以下無料

表面『らんぷ』(部分)2024年 ※都合により出品作品の一部が変更となる場合があります。